

ホザキヤドリギ

Hyphear tanakae (Franch. et Savat.) Hosokawa

ヤドリギ科

石川県カテゴリー

絶滅危惧 I 類

国カテゴリー

該当なし

選定理由

石川県では生育地が極めて限られている。個体数もごく少なく、全国的な分布からも重要な種である。
(現況:R-)

形態

若い枝は紫色を帯び、やや四角柱状である。葉は対生で、やや肉厚、楕円形または長楕円形で、全縁、先は円く、下部はしだいに狭くなって葉柄となる。枝先に穂状花序を伸ばし、まばらに多くの花をつける。花は両性で小さく、黄緑色である。

国内分布

本州(東北地方から中部地方中北部)に分布する。

県内分布

南加賀区の白山麓のブナクラス域に分布する。

生態など

高さ20~40cmの落葉低木である。ミズナラ、ブナ等の落葉広葉樹に寄生する。ブナ、ミズナラ、オオカメノキ、マルバマンサク、ナナカマド、オオバクロモジ等を構成種とするブナ林に生育する。開花期は6~7月。果実は楕円形で淡黄色に熟し、美しい。

生育環境

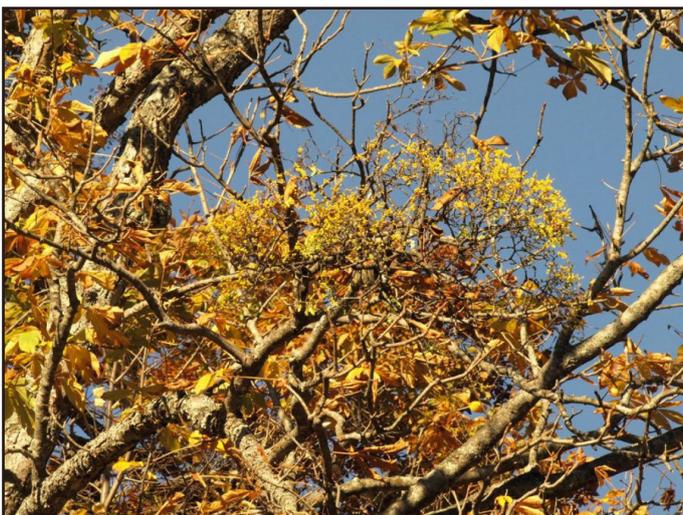
ヤドリギ(*Viscum album* var. *coloratum*)の分布域とほぼ同じ標高600~800mのところに生育する。

危険要因

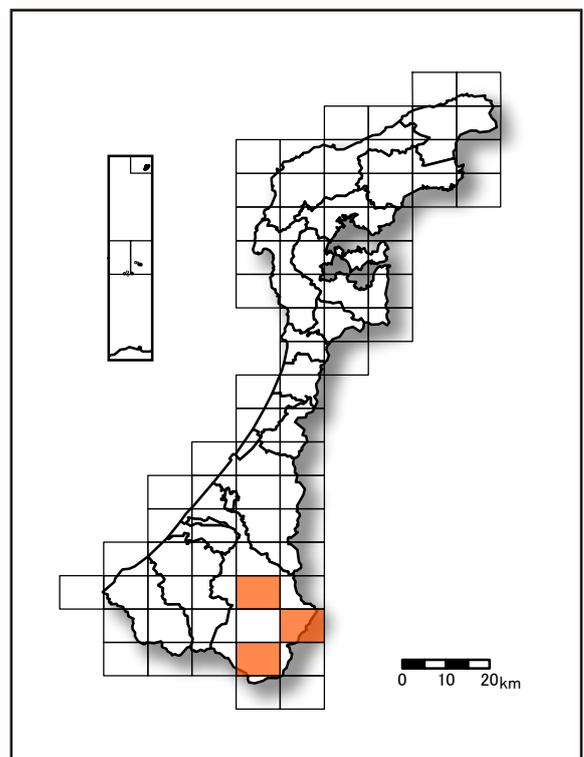
森林伐採、スキー場、道路工事。

特記事項

ヤドリギの類は常緑のものが多いが、ホザキヤドリギは数少ない落葉低木である。



林 二良・2008年11月12日・白山



県内の分布